

各位

平成 25 年 1 月 吉日

主催：一般社団法人

キルギスタン鹿児島友好協会

(連絡先：sumi195@oak.ocn.ne.jp)

『キルギス共和国・経済セミナー』のご案内

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、キルギス共和国第4代大統領の国賓として日本政府とキルギス共和国間で進められています当協会と致しましては大統領の鹿児島訪問実現に向け、鹿児島県内の経済界企業によるキルギス共和国のインフラ整備事業参加受注に対するトップセールスを行う事を目的として進めています。

そこで、当該事業実現に向けて、キルギス共和国（文化・学術・経済・生活インフラ）整備事業協力を設立し、県内有力企業の皆様にご参加いただきたく、概要についてセミナーを開催することといたしましたので、ぜひご参加いただければと存じます。

当協会では微力ながら、皆様のお役に立つ様努力してまいりますので、引き続きご支援のほど、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

記

日時	平成 25 年 2 月 7 日 (木) 14 時開始～
場所	宝山ホール (鹿児島県文化センター)
参加費	無料
テーマ	キルギス共和国経済セミナー
内容	キルギス共和国の概要と経済動向について
講師	一般社団法人 キルギスタン鹿児島友好協会 金融政策アドバイザー 熊切一郎
講師略歴	三菱信託銀行にて国際金融開発・国際投融资業務担当 三菱UFJ投信 独立行政法人国際協力機構シニアボランティアでキルギス共和国大統領府・Public-Private Partnership and Investment Promotion Centerにて投資アドバイザーとして活動

参加お申込書				
ご参加者	貴社名			
	ご連絡先 TEL			
	ご参加者様代表	ご芳名	お役職	
		ご参加者計 (上記代表の方を含む)		名
お申込先	本紙にご記入の上、当協会の担当者へ直接お渡しいただくか、 下記まで FAX くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。			
FAX 送信先	FAX 03-5537-5281 キルギスタン鹿児島友好協会・東京事務所 大牟禮宛て			

【当協会における個人情報の取扱いについて】

本申込書に記載いただく内容については、今回のセミナーのためにのみ利用し、それ以外の目的での利用は致しません。また、無断で第三者に情報を提供することはありません。

キルギス共和国
(文化・学術・経済・生活インフラ)
整備事業協力会設立セミナー概要

1) 「キルギス共和国と当一般社団法人キルギスタン鹿児島友好協会経緯」

2011年9月当協会理事にキルギス共和国と日本国会議員友好議員連盟会長 KALGENBEK Samokov 氏より 2012年4月東京で開催されるキルギス共和国と日本国会議員友好議員連盟の会議があるのでその時1日だけ明治維新で日本を変えた鹿児島に行きたいとの申し出により当協会が鹿児島訪問招待をアレンジした時(有)水迫畜産の個人経営和牛飼育頭数約20,000頭の日本一の経営規模に感銘され是非キルギス共和国に特別招待したいとの訪問要請が急遽実現した事が始まりです。(今日までの活動記録は別紙添付の通り。)

2) 「キルギス共和国第4代大統領国賓訪日について」

昨年よりキルギス共和国第4代大統領 Almazbek Atambayev(アルマズベク・アタンバエフ)氏を日本政府とキルギス政府間で国賓として迎える準備が進み訪問に向け最終調整に入っているとの事です。

3) 「キルギス共和国第4代大統領鹿児島訪問実現に向けて」

当協会におきましてはアルマズベク・アタンバエフ大統領の訪日に際して急遽鹿児島訪問の環境造りを理事会と参事会で編成し昨年より計画していました2013年1月13日の指宿菜の花マラソンを兼ねて在日キルギス共和国大使 (Rysbek MOLDOGAZIEV (モロドガジェフ・リスベック) 大使他キルギス共和国、国際マラソン運営委員長メリス・ナデロバ氏を含め当協会にて5名の特別招待を実現出来た事により当KKF協会はキルギス共和国より民間活動による友好深化の評価を得る事によりキルギス共和国の独立後初めての議会制民主国家の大統領鹿児島訪問実現の可能性をより確実に進めています。

4) 「キルギス共和国の文化・学術・経済・生活インフラ整備事業協力会の提案」

2010年6月日本政府は発展途上国・新興国等各国とのインフラ案件の受注競争に対抗するため新成長戦略でパッケージ型インフラの海外展開を推進し経済産業省は技術協力のアピールにより国際協力銀行 (IBIC) 国際協力機構 (JICA) などの政府系機関の機能を強化する対応策を進めています。

そこで、当協会は在日キルギス共和国大使モロドガジェフ・リスベック様に対してキルギス共和国大統領鹿児島訪問実現時に鹿児島県内の経済界企業のトップセールスによるインフラ整備事業受注を提案したところ是非実現して頂きたいとの言葉を頂く事が出来たのが今回の鹿児島協力会設立要因となります。

5) 「キルギス共和国経済セミナー開催について」

1. キルギス共和国の概要と経済動向について

講師 一般社団法人キルギスタン鹿児島友好協会

金融政策アドバイザー 熊切 一郎

経歴

1976年

一橋大学経済部卒、同年三菱信託銀行入社、香港、ロンドン、シンガポール勤務、主に国際金融開発、国際投融資業務を担当、

2005年 三菱UFJ投信勤務

2010年9月独立行政法人国際協力機構シニアボランティアでキルギス共和国大統領府が設立したPublic-Private Partnership and Investment Promotion Centerで投資アドバイザーとして活動

6) 「セミナー開催案内」

1) 主催 キルギスタン鹿児島友好協会

2) 日時 平成25年2月7日午後2時

3) 場所 宝山ホール

4) 住所 893-0816 鹿児島市山下町5-3

電話 ; 099-223-4221

http://ticket-search.pia.jp/pia/venue/venue_access_map.do?venueCd=KGBC

5) 個別相談会の案内

1) 日時 平成25年2月7日 当日会場にて発表します。

2) 個別相談担当者

企画本部 大牟禮純好

Email : sumi195@oak.ocn.ne.jp

金融政策アドバイザー 熊切一郎

ichiro.kumakiri@gmail.com



2012年度の一般社団法人キルギスタン鹿児島友好協会活動実績報告書

4月キルギス共和国の国会議員として初めて鹿児島訪問を実現致しました。

5月キルギス共和国国会議員のサマコブ議員の御尽力により当協会理事9名全員がキルギス共和国訪問の招待受け寛大なる歓迎を受け鹿児島から持参したソメイヨシノ桜苗木100本の記念植樹際を行いキルギス共和国独立後第1回として開催された国際マラソン大会に特別参加する事が出来ると同時にキルギス現地合弁会社 Japan Holding Company を設立する事が出来ました。

6月には当一般社団法人キルギスタン鹿児島友好協会設立登記も完了し又当協会の活動が公的に評価された事により外務省の欧州中央アジア局におきましては中央アジア情勢に関する情報及びアドバイスを頂く事が出来ました。

8月にはキルギス国際マラソン大会運営委員3名を鹿児島に招待し指宿市役所の市長表敬訪問と菜の花マラソン実行委員会の運営システム等の勉強に当協会の費用負担で招待しました。

8月15日からキルギスにおけるビジネス構築の調査を兼ねて現地首都ビシュケクに当協会理事大牟禮由紀人が滞在しています。
キルギス政府主催の国際フォーラムに参加した時に日本では得る事の出来ないあらゆる人的関係も出来つつあります。

9月21日から1週間キルギスの首都ビシュケクにおいて当協会の全額負担による試食イベントを開催致しました。
水迫畜産の和牛肉と(株)鹿屋まちの駅一番館に鯉料理の食材を調達依頼してキルギスの招待客の方々から大変な好評を得る事が出来政府側の配慮によりキルギス国営テレビに特別出演した事でキルギス全土に鹿児島から食材を直接持参しシェフまで同行した事によるキルギスの方々との親近感をより身近なものにする事が出来ました。

10月にはIMFの総会が東京で開催された事もありキルギス共和国投資ラウンドテーブルにキルギス中央銀行総裁・キルギス財務大臣出席により当協会にも出席要請があり直接中央銀行総裁に挨拶する事が出来ました。

11月には中央アジア+日本外相会議が開催されレセプションには外務省からの招待により当協会の水迫会長と理事大牟禮純好が出席しキルギス共和国外務大臣エルラン・アブディルダエフ氏に直接御挨拶する事が出来ました。

12月年末になり在キルギス日本大使館より独立行政法人 国際交流基金文化事

業部の助成事業として鹿児島県肝付町高山の流鏑馬行事を 2013 年 8 月 31 日のキルギス独立記念日に披露できませんかとの問い合わせがあり 12 月 3 日締め切りまでに申請書類を提出いたしました。

提出した申請書が国際交流文化事業として審査評価されると平成 24 年 3 月末に決定の発表となります。

12 月に日本キルギス友好協会の忘年会に招待を受け在日本キルギス大使モロドガジェフ・リスベク特命全権大使より当協会のキルギスとの民間交流を高く評価頂き感謝のお礼を頂きました。

2013 年度の主な予定

1 月 12 日～15 日

指宿菜の花マラソン大会キルギス国際マラソン大会運営委員 5 名特別招待

5 月

キルギス国際マラソン大会への参加

キルギス首都ビシュケクに桜の苗木 100 本を持参して植樹をする。

合弁会社の新規事業協議会